

予約連絡の自動音声電話について

ご案内します



館内検索機やカウンターで本などの予約をする際に、電話連絡を希望された場合、準備が出来たときの連絡は以下の内容の自動音声（肉声テープ）で行っています。音声の案内にしたがって、「1」を押してください。



電話を取る

※自動音声電話の発信番号は 533-4646 です。

資料が用意できた日の 19 時以降に発信されます。

こちらは、札幌市の図書館です。ご予約されていた資料が受け取れるようになりましたのでご連絡いたします。

ご用意している場所・点数をお知らせしますので1を押して下さい。お心当たりがない場合、9を押して下さい。

数字を押しても繋がらない場合、電話を切り、貸出券に記載されている図書館などへお問合せください。

1を押した場合

トショカン タロウ 様の

ご予約資料が A館に2点、B館に3点 ご用意できました。休館日をご確認のうえ1週間以内に受取りにいらしてください。

予約状況の詳細についてお知りになりたい場合は受取りを希望された図書館などにお問い合わせください。

※お名前は合成音声による読み上げのため聞き取りにくい場合があります。

9を押した場合

終了いたします。失礼いたしました。

何も押さなかった場合・数字を押しても繋がらない場合

こちらは、札幌市の図書館です。ご予約の資料がご用意できましたのでお知らせします。予約状況の詳細についてお知りになりたい場合は、受取りを希望された図書館などにお問い合わせください。

音声にしたがって1を押していただいた時点で、連絡が終了したと判断しますので、折り返し図書館などへお電話いただく必要はありません。貸出券をお持ちになり、休館日をご確認の上、受取を希望された図書館などにいらしてください。

※裏面もごらん下さい

お問い合わせ先：札幌市中央図書館 電話番号：011-512-7320

自動音声電話のぎもんとこたえ



電話は最後まで聞かないといけないの？



音声の流れ始めたら1を押して電話を切ってください。

「こちらは…」と音声の流れ始めたら、番号案内の前でも1を押すと次のお名前の読み上げに移り、その時点で機械は連絡がついたと判断します。ご用意が来ている場所や数を聞く必要がない場合は、そのまま電話を切っていただいても問題ありません。



留守中に、留守番電話が電話を取った場合はどうなるの？



翌日に再度同様の電話がかかります。

機械による自動発信ですので、電話が通じた先が留守番電話応答かの判断が出来ません。ご自宅の留守番電話が応答した時点で、こちらの音声の流れ始めますので、ご使用の電話機によっては録音が途中からになります。そして、何も押さなかった場合の音声 最後に流れて終了し、翌日に再度同様の電話がかかります。留守番電話でなく、どなたかが電話に出られて1か9を押さなかった場合も同様です。



番号を押してもつながらない場合は？（ダイヤル回線等の電話について）



カウンターでご相談ください。

ダイヤル回線をご使用の場合や一部のIP電話は、音声のガイドにしたがって番号を押しても入力が受け付けられないため、連絡の処理が正常に行えません。FAXやメールでのご連絡も差し上げておりますので、カウンターでご相談ください。

※ダイヤル回線でも、トーン切替を行うとご利用いただける場合があります。「*」や「トーン」ボタンを押すなど、ご利用の電話機によって操作が異なりますので、電話機の取扱説明書をご確認ください。



着信があった番号（533-4646）に折り返しかけると？



札幌市図書館自動音声電話につながります。

533-4646 にかけて、札幌市図書館自動音声電話につながります。パスワードをお持ちであれば、音声ガイドにしたがった操作で、ご自身の貸出状況や予約状況を確認できます。詳しい操作方法は、カウンターでおたずねください。

※パスワードは各カウンターで発行していますのでお気軽におたずねください。自動音声電話の他、札幌市の図書館ホームページ（蔵書検索システム）や館内検索機で同様のパスワードをご利用いただけますが、自動音声電話をご利用いただく場合、パスワードは数字のみで設定してください。

